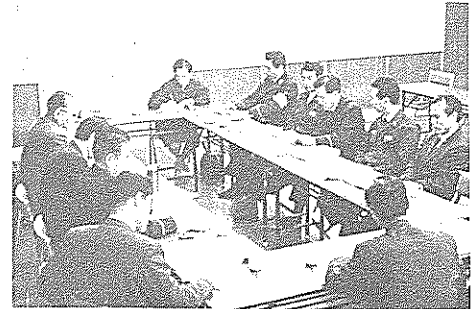


の始末年末

で注意のみのぐる家族



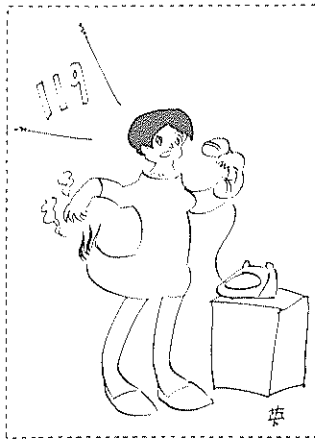
出席者

- 〈警察署〉 山崎勉署長・西村忠尾刑事課長・三谷義兼交通課長
- 〈消防署〉 川田正雄署長・国則重雄隊長・福岡修隊長・松岡孝行救急隊長
- 〈少年輔導センター〉 溝淵原巳所長・吉岡真一郎輔導教員
- 〈司会〉 山本尚一広報委員

昨年一年間の三十二件の火災の中には、単なる「ボヤ」といわれるくらいのも含まれてあります。他の市町村でみられるような二軒、三軒と類焼するような事例はありません。これらは、消防団員、職員、資質の向上や年々よくなっている消防施設の充実が大きな火災を防いでいるともいえるようです。

緊急の場合、警防関係の機械器具はポンプ車十六台、そのうちタンク車が一台、可搬ポンプが九台、これを運搬する車が七台あります。

全国的な傾向として火災件数は年々増えている、市でも四十四年に二十三件、四十五年に三十二件、そしてことは十月ま



各家庭に

消火器を

司会、現状について具体的にうかがいました。この年末、年始にかけて、特に市民が心がけ、気をつけなければならないこと

青少年の非行は

家庭に問題が

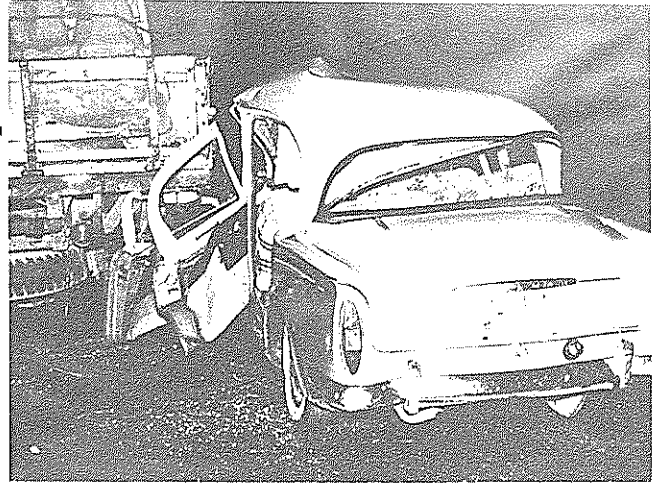
司会、市民総ぐるみで、いたましい事故や火災の起らないように気をつけたいものです。

ところで、青少年の非行問題についても、市民ひとりひとり

で二十八件あります。この中に三件の放火が含まれていることは、非常に残念なことです。時間的には、午後八時から午前二時ごろまでの間に集中しています。損害額も昨年は航空機の被害が含まれて二千万円になりましたが、ことは約九百万円になっています。

防犯防災

を正月のいかる明



ほとんど毎日

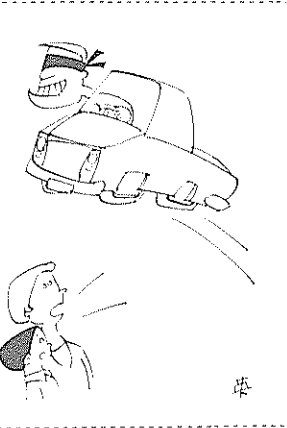
窃盗と交通事故
司会、年末、年始の防犯、防災といふことで、おうかがいしたいのですが、はじめにことしおきた事件などの現状について

警察では、ことし特に大きな問題はありますが、犯罪のうち一番多いのが、窃盗事件です。泥棒に入られたという事件がほとんど毎日あります。

また、まことに残念ながら、最近ほとんど交通事故がないという日がありません。

十月までの死亡者が十七人で、昨年度の十六人をはやくも一人オーバーしています。なんとかしてこれ以上の犠牲者を出さないように強力な指導、取り締まりと、安全運動に対する市民の協力をたのみたいと思います。

- ▽ ことしあどわずかになりました。年末、年始のあわただしさや交通の混雑、正月の解放感など災害をまねく条件が重なっている時期です。ちよつとした不注意が大きな不幸をまねくことにもなります。災害の現況やその対策はどのようになっているでしょうか。私たちが市民が心がけ、気をつけなければならないことはどんなことでしょうか。関係機関の協力をえて、年末、年始の防犯、防災について聞いてみました。



南園管内(大津村、奈良村を含む)で起きた事件は、六百七十五件。この中には交通事故による業務上の過失致死傷事件三百三十二件があり、約半数となっています。

検挙したものは、五百十九件で、八十七名まで検挙しています。次が多いのが窃盗の二百六十四件。検挙百二十九件。他の警察管内のもの五十五件、これをあわせると検挙したものは百八十四件です。

その他、傷害十九件、殺人二件、強姦二件などがあります。殺人は昨年の四件よりも減少しています。

交通事故の発生状況を見てみますと、十月末現在で、国道六十七・二、県道十六・五、市村道十七・三、市村道より市村道が事故が多くなっています。この原因は第一にマイカーの増加とそれともなう道路整備がなされていないことによります。

原因別では、一番多いのが前方不注意。これは二日酔い、ねむり運転が原因のようです。次に無理な追い越し、酒酔運転、安全運転を守らなかったものなどがあります。

救急車をタクシがわりにしないで
司会、交通事故が非常に多くなったことなどから、消防署の救急業務も大変だろうと思いますが

高くなった市民の

火災予防意識

司会、学校火災や死者がでるなど大きな火災は最近少なくなったようですが、市の状況はどんなになっていますか。

市民の火災に対する予防意識は非常に高くなっています。県下の市町村に比べると火災の発生が少なくなっています。

てきたのが、一昨年のもので、が、昨年の秋には市内一円に広がり、最近では後免町を中心に非常に多くなっており、年内に補導した者のうち少年が女子一人を含めて二十五人。大人が女子一人を含めて十九人。小学生四、五人が、大人にバンドを吸わされたという事件がありました。これは非常に問題があると思います。

アパートに少年が集まり真夜までマジャン、バンド遊びなどをする傾向がみられます。友だちから友だちへと交友の輪が広がって、アパートの一部屋に五十人ぐらいが出入りしているようなこともあり、これに関連して、無断外泊や家出の原因は、やはり家庭に問題がありそうです。

青少年を非行から防ぐため、家庭では、相互の理解(和合)家庭内における規律(協同)地域社会との関係(調和)の三つのことが、少なくとも必要だと思っています。

家族で防火会議を

危ない大金の輸送

- ▼ 空気乾燥してきますので、家庭では防火会議をひらいてそれぞれ役割を決め火災に対する認識を高めることが大切です。
- ① 暖房器具などの安全な取り扱いと使用場所、使用後の点検
- ② ガソリン、白灯油、軽油などの安全な取り扱いと保管
- ③ 寝る前と外出するときの火の元の点検
- ④ 子供の火遊び
- ⑤ タバコの後始末
- ⑥ 消火器と防火用水の準備
- ⑦ 避難経路と避難器具の検討
- ⑧ 老人、病人、子供の寝る場所の選定など家庭の中で話しあっておくことです。

置けようがありません。もし、火災がおきた場合は、少々の「ボヤ」でも必ず消防署に通報し、初めのうちに消すことが大切です。

▼ 未然に大火を防ぐこと。そのためにも、各家庭に少なくとも一本の消火器は備えてほしいものです。

▼ 火災発生の際、通報サイレンが鳴りますが、そのとき一般の問い合わせ電話は、直接関係のないとき以外は、控えてもらわないと消防団員の現場確認に支障があります。

また、消火栓のうえに車などを置いてあるのも困ったもので

大金の輸送は 単独行動しない

▼ 年末、年始は、現金の動く機会が多くなります。

▼ 貯蔵施設のない場合、灯油などは火災予防上、五百リットル以上は、

被害にからないようにするために

① 家庭の戸締りを厳重にする

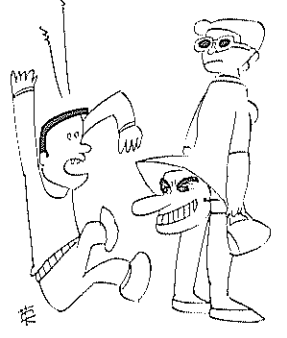
② このころ県下の全体的な傾向として事務所、金融機関

学校、官公署などを目標に大金を狙うということがあるので、それぞれ自衛的な措置をとっていただき、

あわせてパトロールの強化でこのような被害を防ぐようにしたいと思えます。

③ 金融機関の利用者を対象に、途中でのひたたり、路上強盗などが起ることも考えられるので、大金の輸送には決して単独行動はしないで、なるべく自動車などを利用するように。

④ 交通機関の混雑や、パーゲンセールなど、いろいろの催しもあって、デパート、マーケットなどの混雑をわらわら、すりの被害が多いので注意が必要です。



ハンドバッグに 防犯ブザー

ハンドバッグに防犯ブザー

▼ 注意してもらいたいと思います。非行事件のあったとき、補導センターや学校へ連絡すると処分を受けるのではないかと父兄の方の心配はわかりますが、センターや学校は、子供を守る立場にあることを特に市民の方に知ってもらいたいと思います。

▼ 夜間の婦人の一人歩きはとくに注意が必要です。

おそくなつたときは、必ずず男性と一諸することや防犯ブザーをハンドバッグなどに入れて方一のとくに備えることです。

この防犯ブザーは、三百二十円で警察があつていません。これは百円先でも聞える威力をもつています。

▼ 自転車は夜間見えにくいので五十リットル後方からでもわかるような反射装置（一枚百円）をつけることです。

こういつた被害にからないようにはしてはほしいものです。

▼ 少年の非行防止のことですが冬休みという解放感と、多忙のため保護者の放任というようなことから、不良行為が多く起ることが予想されます。

各家庭の保護者の方々は特に



すっかり市民に定着 初日に千五百人

▼ 第十一回南国市美術展は、十一月二十八日から十一月五日までの八日間、市民体育館で開かれました。

▼ 搬入作品は一般、児童生徒の部を合わせて七千四百六十三点にのぼる大量の作品が集まり、この中から選ばれた力作三千六点が展示されました。

▼ 一般の部では、筒井広道、大野竜夫(洋画)、彫塑、工芸、田岡耕作(日本画)、平山昌幸(漫画)、松岡雲峰(書道)、寺田正

高芝晴喜(写真)の各審査員によって、三百三十三点の審査が行なわれ、特選十一名、褒状二十九名、入選百七十三名が選ばれました。

▼ この中には、八十三歳になる稲生、葛目仲次さんの工芸などが含まれ、二、三歳児から中学生までの児童、生徒作品とならんで、老若男女の美への道は、ますますふかまっています。

▼ 初日は、日曜日とあって、金堂市長のテープにハサミを入れるのを待ちかねて、親子づれなど千五百人が、どっとおしよせるほどのにぎわいをみせ、市の美術展もすっかり市民に定着した感でした。

▼ ハンドバッグに防犯ブザー

▼ 注意してもらいたいと思います。非行事件のあったとき、補導センターや学校へ連絡すると処分を受けるのではないかと父兄の方の心配はわかりますが、センターや学校は、子供を守る立場にあることを特に市民の方に知ってもらいたいと思います。

▼ 夜間の婦人の一人歩きはとくに注意が必要です。

おそくなつたときは、必ずず男性と一諸することや防犯ブザーをハンドバッグなどに入れて方一のとくに備えることです。

この防犯ブザーは、三百二十円で警察があつていません。これは百円先でも聞える威力をもつています。

▼ 自転車は夜間見えにくいので五十リットル後方からでもわかるような反射装置（一枚百円）をつけることです。

▼ 注意してもらいたいと思います。非行事件のあったとき、補導センターや学校へ連絡すると処分を受けるのではないかと父兄の方の心配はわかりますが、センターや学校は、子供を守る立場にあることを特に市民の方に知ってもらいたいと思います。

▼ 夜間の婦人の一人歩きはとくに注意が必要です。

おそくなつたときは、必ずず男性と一諸することや防犯ブザーをハンドバッグなどに入れて方一のとくに備えることです。

この防犯ブザーは、三百二十円で警察があつていません。これは百円先でも聞える威力をもつています。

▼ 自転車は夜間見えにくいので五十リットル後方からでもわかるような反射装置（一枚百円）をつけることです。

▼ 第十一回南国市美術展は、十一月二十八日から十一月五日までの八日間、市民体育館で開かれました。

▼ 搬入作品は一般、児童生徒の部を合わせて七千四百六十三点にのぼる大量の作品が集まり、この中から選ばれた力作三千六点が展示されました。

▼ 一般の部では、筒井広道、大野竜夫(洋画)、彫塑、工芸、田岡耕作(日本画)、平山昌幸(漫画)、松岡雲峰(書道)、寺田正

高芝晴喜(写真)の各審査員によって、三百三十三点の審査が行なわれ、特選十一名、褒状二十九名、入選百七十三名が選ばれました。

▼ この中には、八十三歳になる稲生、葛目仲次さんの工芸などが含まれ、二、三歳児から中学生までの児童、生徒作品とならんで、老若男女の美への道は、ますますふかまっています。

▼ 初日は、日曜日とあって、金堂市長のテープにハサミを入れるのを待ちかねて、親子づれなど千五百人が、どっとおしよせるほどのにぎわいをみせ、市の美術展もすっかり市民に定着した感でした。

高芝晴喜(写真)の各審査員によって、三百三十三点の審査が行なわれ、特選十一名、褒状二十九名、入選百七十三名が選ばれました。

▼ この中には、八十三歳になる稲生、葛目仲次さんの工芸などが含まれ、二、三歳児から中学生までの児童、生徒作品とならんで、老若男女の美への道は、ますますふかまっています。

▼ 初日は、日曜日とあって、金堂市長のテープにハサミを入れるのを待ちかねて、親子づれなど千五百人が、どっとおしよせるほどのにぎわいをみせ、市の美術展もすっかり市民に定着した感でした。

高芝晴喜(写真)の各審査員によって、三百三十三点の審査が行なわれ、特選十一名、褒状二十九名、入選百七十三名が選ばれました。

▼ この中には、八十三歳になる稲生、葛目仲次さんの工芸などが含まれ、二、三歳児から中学生までの児童、生徒作品とならんで、老若男女の美への道は、ますますふかまっています。

▼ 初日は、日曜日とあって、金堂市長のテープにハサミを入れるのを待ちかねて、親子づれなど千五百人が、どっとおしよせるほどのにぎわいをみせ、市の美術展もすっかり市民に定着した感でした。

高芝晴喜(写真)の各審査員によって、三百三十三点の審査が行なわれ、特選十一名、褒状二十九名、入選百七十三名が選ばれました。

▼ この中には、八十三歳になる稲生、葛目仲次さんの工芸などが含まれ、二、三歳児から中学生までの児童、生徒作品とならんで、老若男女の美への道は、ますますふかまっています。

▼ 初日は、日曜日とあって、金堂市長のテープにハサミを入れるのを待ちかねて、親子づれなど千五百人が、どっとおしよせるほどのにぎわいをみせ、市の美術展もすっかり市民に定着した感でした。